

令和6年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

●R6年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

| 実施自治体名        | 課題の類型1    | 課題の類型2          | 背景・現状・課題の詳細  | これまでの取組状況  | 左記課題の解決のために令和6年度に実施する具体的な取組  | 本事業で達成する目標(アウトカム)  | 目標の達成度を測る指標  | 現状の数値 | 単位 | 本年度の目標値 | 本年度の実績値 | アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)   |
|---------------|-----------|-----------------|--|--|--|--|--|-------|----|---------|---------|--|
| 394050<br>栲原町 | ③学校と家庭の課題 | 放課後等における多様な体験活動 | 時代の変化もあり、地域として学校に何を支援できるか、学校側もどういったことが地域に協力をもらえるのかの情報が不足しており、学校と地域・家庭のつながりが薄れてきている現状がある。 | 学校と地域・家庭の橋渡しとしてコーディネーターを配置し、学校内で勤務し、教職員と連携・相談しやすい環境づくりを行っていた。また、放課後子ども教室では、子どもの居場所づくりとして、様々な体験活動を行っている。また同教室は活動を学校の空き教室で行っており、学校と連携し、情報共有しながら体験活動を行っている。また、地域の方を講師とすることで、地域と学校の子どもたちのかかわりを持つ場を広げている。 | これまでの取組は継続しながらも、放課後等の体験メニューや件数について、子どもの自己有用感や保護者の安心感、地域の方々との交流ができていくか検討し、見直しながら実施していく。 | 令和6年度末(3月)に放課後子ども教室を利用している児童の保護者にアンケートを実施する<br>○栲原町放課後子ども教室があつてよかった<br>○栲原町放課後子ども教室を通して、子どもが成長したと思う。<br>○栲原町放課後子ども教室を通して、地域のことに関心を持つようになったと思う。<br>の3項目について、4段階で評価することとする。<br>また、その肯定群の割合を指標とする。<br>なお、令和6年度に初めて実施のため、現状の指標は0となる。 | 令和6年度末(3月)に放課後子ども教室を利用している児童の保護者にアンケートを実施する<br>○栲原町放課後子ども教室があつてよかった<br>○栲原町放課後子ども教室を通して、子どもが成長したと思う。<br>○栲原町放課後子ども教室を通して、地域のことに関心を持つようになったと思う。<br>○栲原町放課後子ども教室を通して、地域のことに関心を持つようになったと思う。<br>の3項目について、4段階で評価することとする。<br>また、その肯定群の割合を指標とする。<br>なお、令和6年度に初めて実施のため、現状の指標は0となる。 | 0     | %  | 65      | 85      | 5<br>放課後子ども教室についてのアンケート結果有効回答数75<br>①放課後子ども教室が栲原学園にあつてよかったと思いますか<br>非常に思う`62件・まあ思う`13件・あまり思わない`0件・全く思わない`0件 肯定回答100%<br>②放課後子ども教室をととして子どもが成長したと思いますか<br>非常に思う15件・まあ思う`54件・あまり思わない`5件・全く思わない`1件 肯定回答92%<br>③放課後子ども教室をととして地域のことに関心を持つようになったと思いますか。<br>非常に思う`12件・まあ思う`52件・あまり思わない`10件・全く思わない`1件 肯定回答85.3%<br>すべての回答において肯定回答が80%を上回る結果となった。<br>地域の方の協力を得て体験活動を行っており、活動を行う中で地域への関心度が高まっている。<br>しかしながら、高齢化もあり、活動の協力をしてくれる方や地域での見守りをしてくれる方の慢性的な人員の不足があるので今後人員確保が課題となっている。 |

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。